

4 学年 前期 学習内容と評価規準

前期の学習内容と学校が評価をするにあたっての規準の例です。

※すべてこのように評価しているわけではありませんが、これを規準にあゆみを作成しております。

【知・技】…知識及び技能の評価

【思・判・表】…思考力、判断力、表現力等の評価

【態】…主体的に学習に取り組む態度の評価

教科	単元名・教材名	評価規準
国 語	白いぼうし ※力を合わせてばらばらに ※春の歌 ※なりきって書く ※図書館の達人になろう ※漢字辞典を使おう ※春の楽しみ	【知・技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。 【思・判・表】登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 【態】進んで登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉え、学習課題に沿って、不思議なところについて考えたことを話し合おうとしている。
	聞き取りメモのくふう 【コラム】話し方や聞き方からつたわること ※カンジューはかせの都道府県 ※漢字の広場①	【知・技】相手を見て話したり聞いたりしている。必要な語句などの書き留め方を理解し使っている。 【思・判・表】必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。 【態】粘り強く必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話の中心を捉え、学習の見通しをもって、聞いたことを伝えるためにメモを取ろうとしている。
	思いやりのデザイン アップとルーズで伝える 【じょうほう】考えと例	【知・技】接続する語句の役割、段落の役割について理解している。考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 【態】粘り強く、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉え、学習の見通しをもって、自分の考えを伝え合おうとしている。
	一つの花 ※つなぎ言葉のはたらきを知ろう ※短歌・俳句に親しもう ※要約するとき	【知・技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。 【思・判・表】登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 【態】粘り強く、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって、心に残ったところを伝え合おうとしている。
	新聞を作ろう 【コラム】アンケート調査のしかた ※カンジュー博士の都道府県の旅2 ※夏の楽しみ	【知・技】比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方、引用のしかたや出典の示し方を理解し使っている。 【思・判・表】相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 【態】進んで書く内容の中心を明確にして構成を考え、学習の見通しをもって、新聞を作ろうとしている。
	本のポップや帯を作ろう 神様の階段 ※忘れもの ※ぼくは川	【知・技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。 【思・判・表】文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。 【態】積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって、本をポップや帯で紹介しようとしている。
あなたなら、どう言う ※パンフレットを読もう ※どう直したらいいかな ※いろいろな意味をもつ言葉 ※ローマ字を使いこなそう ※漢字の広場③	【知・技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。考えとそれを支える理由との関係について理解している。 【思・判・表】目的を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。 【態】積極的に、互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめ、学習課題に沿って、異なる立場に立って話し合いをしようとしている。	
書 写	用具の準備 書くときの姿勢 筆の持ち方 点画の種類 部分の組み立て(左右・上下) 筆順と字形	【知・技】毛筆用具の準備のしかた・片づけ方を理解している。 書くときの姿勢を正しくしている。 点画の種類を確かめ、点画の書き方や筆圧などに注意して書いている。 左右の部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書いている。 上下の部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書いている。 筆順と字形の関係を理解して、形を整えて書いている。
社 会	北海道の地図を広げて 1. 北海道の地域と方角 2. 北海道の形と、わたしたちのまちの位置 3. 北海道の土地の様子 4. 北海道の農産物・水産物 5. 北海道の工業と働く人 6. 北海道の交通 7. 北方領土	【知・技】地図を使って、胆振や登別市の地理的位置や地形の様子について調べている。北海道の地形や土地利用、産業、交通について調べたことをノートや白地図などにまとめている。 【思・判・表】我が国における北海道の位置、北海道全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などに着目して、都道府県の様子を捉え、地理的環境の特色を考え、表現している。 【態】北海道の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。
	健康なくらしとまちづくり 1. ごみのゆくへ 2. 水はどこから	【知・技】廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。飲料水、電気、ガスを供給する事業は、安全で安定的に供給できるように進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解している。 【思・判・表】処理の仕組みや再利用などに着目して、廃棄物の処理のための事業の様子を捉え、その事業が果たす役割を考え、表現している。供給の仕組みや経路などに着目して、飲料水、電気、ガスの供給のための事業の様子を捉え、それらの事業が果たす役割を考え、表現している。 【態】人々の健康や生活環境を支える事業について、主体的に問題解決しようとしていたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしていたりしている。

教科	単元名・教材名	評価規準
算 数	一億をこえる数	【知・技】億、兆の単位について知り、十進位取り記数法について深く理解することができる。 【思・判・表】位の仕組みや数の相対的な大きさに着目し、整数の表し方、10倍や100倍、10や100でわったときの仕組みなどを統合的に捉えたり、大きな数の加減計算や乗法の筆算の仕方を考えたりしている。 【態】億や兆で表される大きな数とその仕組みに進んで関わり、ふり返りを通して十進位取り記数法や数の相対的な見方のよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	折れ線グラフ	【知・技】身のまわりの事象について、データの変化を表すには折れ線グラフを用いるとよいことを理解し、折れ線グラフをよんだりつくったりすることができる。 【思・判・表】目的に応じて、折れ線グラフの目盛りのつけ方を適切に判断したり、折れ線グラフから事象の特徴をよみとったりしている。 【態】身のまわりの事象の変化を折れ線グラフに表すことに進んで関わり、ふり返りを通してグラフを目的にあわせて選択したり工夫したりすることの必要性やそのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	1けたでわるわり算の筆算 ※ふく習	【知・技】 $(2, 3 \text{ 位数}) \div (1 \text{ 位数})$ の筆算の仕方や(わられる数) = (わる数) × (商) + (余り)の関係を理解し、計算したり答えを確かめたりすることができる。 【思・判・表】既習のわり算の計算の仕方をもとに、 $(2, 3 \text{ 位数}) \div (1 \text{ 位数})$ の計算の仕方を考えている。 【態】1位数でわるわり算に進んで関わり、ふり返りを通してわり算の筆算の仕方のよさや答えを確かめることの意義に気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	角とその大きさ	【知・技】角の大きさを回転の大きさとしてとらえ、分度器の使い方や角の大きさの単位(度 [°])について知り、角の大きさを測定したり、加減計算をしたりすることができる。 【思・判・表】角の大きさに着目して図形を考察したり、180 [°] や360 [°] を基準として角の大きさのはかり方やかき方を考えたりしている。 【態】角の大きさの測定や作図に進んで関わり、ふり返りを通して角の大きさにあわせて分度器を工夫して使うことや角の大きさも加減計算ができることよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	垂直・平行と四角形	【知・技】直線の垂直や平行の関係について理解し、ある直線と垂直や平行な直線を見つけたり作図したりすることができる。平行四辺形、ひし形、台形について理解し、弁別したり性質を調べたりすることができる。 【思・判・表】直線の位置関係や図形の構成要素に着目し、図形の性質について考えたり、その性質をもとに図形をとらえ直したりしている。 【態】直線の位置関係や四角形の考察に進んで関わり、ふり返りを通して垂直や平行な直線に着目することよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	小数 ※見積もりを使って ※算数の自由研修 ※ふく習	【知・技】1/1000の位までの小数の表し方や仕組みを理解し、小数の大小比較や加減計算をすることができる。 【思・判・表】小数が整数と同じ仕組みで表されていることに気づき、既習の整数の場合をもとに小数の加減計算の仕方を考えている。 【態】1/1000の位までの小数とその仕組みに進んで関わり、ふり返りを通して0.01や0.1を基準とした数の相対的な見方のよさや小数と整数は同じ仕組みであることに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
2けたでわるわり算の筆算	【知・技】2位数でわるわり算の筆算の仕方や除法に関して成り立つ性質を理解し、2位数でわる計算をしたり工夫してわり算の計算をしたりすることができる。 【思・判・表】既習のわり算の計算の仕方をもとに2桁でわるわり算の計算の仕方を考えたり、商の大きさや商を立てる位が正しいかどうかを判断しながら商を見当づけたっている。 数のまとまりに着目し、除法に関して成り立つ性質について考えたり、それを用いて計算の工夫の仕方を考えたりしている。 【態】2位数でわるわり算に進んで関わり、ふり返りを通してわり算の筆算の仕方やわり算の性質のよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。	
理 科	あたたかくなると	【知・技】動物の活動は、あたたかい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。植物の成長は、あたたかい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 【思・判・表】身近な動物や植物について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 【態】身近な動物や植物についての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。
	動物のからだのつくりと運動	【知・技】人の体には骨と筋肉があることを理解している。人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによることを理解している。 【思・判・表】人や他の動物の体のつくりと運動との関わりについて、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 【態】人や他の動物の体のつくりと運動との関わりについての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。
	天気と気温	【知・技】天気によって1日の気温の変化の仕方に違いがあることを理解している。 【思・判・表】天気の様子と気温との関係について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 【態】天気の様子と気温との関係について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
	電流のはたらき	【知・技】①乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさと向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを理解している。 【思・判・表】電流の働きについて、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 【態】電流の働きについての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。
	雨水のゆくへと地面のようす	【知・技】水は、高い場所から低い場所へと流れて集まることを理解している。水のしみ込み方は、土の粒の大きさによって違いがあることを理解している。 【思・判・表】雨水の行方と地面の様子について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 【態】雨水の行方と地面の様子についての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。
	暑くなると ※夏の星	【知・技】動物の活動は、あたたかい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。植物の成長は、あたたかい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 【思・判・表】身近な動物や植物について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 【態】身近な動物や植物についての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。
	月や星の見え方	【知・技】月は日によって形が変わって見え、1日のうちでも時刻によって位置が変わることを理解している。空には、明るさや色の違う星があることを理解している。星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解している。 【思・判・表】月や星の特徴について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 【態】月や星についての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。
音 楽	はくとせんりつ ※にっぽんのうた みんなのうた ※スキルアップ	【知・技】曲想と拍や速度など音楽の構造との関わりに気付いている。 【思・判・表】拍や旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりしている。 【態】拍子の特徴を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
	ひびきのある歌声 ※音のスケッチ	【知・技】思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付けている。 【思・判・表】音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌声や旋律のよさや楽しさを見いだしてミュージカルの音楽を聴いている。 【態】いろいろな歌声を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
	めざせ楽器名人	【知・技】リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、互いの音や副次的な旋律、伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能及びサミングの技能を身に付けている。 【思・判・表】旋律や音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【態】高い音をきれいに響かせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
	曲にあった歌い方	【知・技】思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。 【思・判・表】旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【態】曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

教科	単元名・教材名	評価規準
図 工	全単元を通して	【態】つくりだす喜びを味わい進んで学習活動に取り組もうとしている。
	絵の具でゆめもよう	【知・技】水彩絵の具を使っているいろいろな表し方を試して模様の紙をつくったり、それらを使って表したりするときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かっている。 【思・判・表】形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、水彩絵の具で試して感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。
	コロコロガール	【知・技】ビー玉を転がして楽しく遊ぶものをつくるときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かっている。 【思・判・表】形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、ビー玉を転がして感じたこと、想像したことから、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。
	立ち上がれ！ねん土	【知・技】板状やひも状にした粘土の形を生かして、大きく立ち上がる形を表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かっている。 【思・判・表】形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、粘土を立ち上げながら感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。
	まぼろしの花	【知・技】まぼろしの花の世界を表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かっている。 【思・判・表】形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、まぼろしの花の世界を想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。
	ギョギョントンクリエイター	【知・技】のこぎりでいろいろな形を切った木を組み合わせて、生活で使えるものをつくるときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かっている。 【思・判・表】形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、切った木を組み合わせて感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、用途を考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。
	色合いひびき合い	【知・技】指で絵の具を混ぜるときの感覚や行為を通して、色の感じ、形の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かっている。 【思・判・表】色の感じ、形の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、徐々に変化する色の様子などの造形的なよさや面白さなどについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。
わすれられない気持ち	【知・技】水彩絵の具を適切に扱うとともに、クレヨン・パス、ペンなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 【思・判・表】形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、生活の中で感じたこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	
体 育	体づくり運動	【知・技】体ほぐしの運動の行い方がわかる。手軽な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己や友達の間と体の状態に気付いたり、みんなで豊かに関わり合ったりすることができる。 【思・判・表】自己の課題を見付け、その課題を解決するために、様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。新たな運動の行い方を考えたり、友達と動きを合わせたりして、自分の力に合った動き方を選んでいる。基本的な動きを身に付けるための運動のポイントや行い方、心と体の変化について、気づいたり考えたりしたことを友達に伝えている。 【態】多様な動きをつくる運動に進んで取り組んでいる。きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。
	マット運動	【知・技】マット運動のいろいろな技の行い方がわかる。自分の力に合った回転系（前転など）や巧技系（壁倒立など）の基本的な技ができる。○前転（発展技：開脚前転）○易しい場での開脚前転○開脚後転（発展技：伸膝後転）○補助倒立ブリッジ（発展技：倒立ブリッジ）○側方倒立回転（発展技：ロングド）○首はね起き（発展技：頭はね起き）○頭倒立 【思・判・表】技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。見付けたポイントや友達の技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。 【態】マットなどの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。
	ラインサッカー	【知・技】ラインサッカーの行い方がわかる。近くにいるフリーの味方にパスを出すことができる。ボール保持者と自己の間に守備者が入らないように移動することができる。得点しやすい場所に移動し、パスを受けてシュートすることができる。ボール保持者とゴールの間に体を入れて守備をすることができる。 【思・判・表】誰もが楽しくラインサッカーに参加できるように、プレイヤーの人数やコートや広さ、プレイングの制限、得点の仕方などの規則を工夫している。チームの特徴に応じた作戦を選び、自分の役割を確認している。 【態】ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。ゲームの勝敗を受け入れている。ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、仲間の考えや取組を認めている。
	かけっこ・リレー	【知・技】かけっこ・リレーの行い方がわかる。スタート姿勢から素早く走り出すことができる。真っ直ぐ前を見て、腕を前後に大きく振って走ることができる。走りながら、タイミングよくバトンの受渡しができる。コーナーの内側に体を軽く傾けて走ることができる。最後まで全力で走ることができる。 【思・判・表】かけっこやリレーのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。かけっこやリレーのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、速く走るための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 【態】きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。勝敗を受け入れている。互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。
	表現運動	【知・技】表現したい題材の表し方がわかる。 【思・判・表】表現におけるよい動きがわかり、友達のよい動きを自分の動きに取り入れている。 【態】表現に進んで取り組んでいる。
	水泳	【知・技】水面に顔を付け、手や足をゆっくりと動かし進むなど、呼吸を伴わない簡単なクロールや平泳ぎなどの初歩的な泳ぎをすることができる。ばた足泳ぎやかえる足泳ぎ、簡単なクロールや平泳ぎなど、頭の上方に腕を伸ばした姿勢で、手や足をバランスよく動かし、呼吸をしながら進むことができる。大きく息を吸い込み全身の力を抜いて背浮き、だるま浮き、変身浮きなどのいろいろな姿勢で浮くことができる。 【思・判・表】自分で立てためあてに挑戦し、自分の課題を見付けている。 【態】水泳運動に進んで取り組んでいる。け伸びをする際に順番にスタートしたり、決まった場所で友達と練習したりするなど、きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。
	保健「体の成長とわたし」 (1)育ちゆくわたしたちの体 (2)思春期にあらわれる変化 (3)よりよく成長するための生活	【知・技】体が年齢に伴って変化すること、体の発育・発達には個人差があること、思春期になると体に変化が起こり、異性への関心も芽生えること、体の発育・発達には適切な運動、食事、休養および睡眠が必要であることを理解している。 【思・判・表】体の発育・発達に関わることから課題を見つけ、体のよりよい発育・発達を目指す視点から、適切な方法を考え、それを伝えている。 【態】学習活動に粘り強く取り組む中で、体が発育・発達することやその大切さに気づき、年齢による発育・発達の仕方や、発育・発達に良い生活の仕方についての学習活動に進んで取り組もうとしている。